

— はじめてのお盆 お迎えガイド —

〈お盆の流れと飾り方〉

お盆はご先祖さまのお里帰り。

家族で心を込め、お迎えしたいものです。

「いったい何から始めればいいの？」

「あまり知識がなくて、色々と不安…」

この冊子はそんな時にお役立てください。

ご先祖さまを想い、お盆の準備を始めましょう。

— 仏壇・仏具・神具の総合専門店チェーン —

新宿西口 都庁まえ



お仏壇の**セレモア**®

お盆のいわれ

お盆はご先祖様の霊を迎えるために行う行事で、
正式には「盂蘭盆会^{うらぼんえ}」といいます。



遠い昔、インドのお話です。お釈迦さまのお弟子さんの中に目連^{もくれん}という、神通力にたけたお坊さんがいました。目連さんは神通力によって、亡き母が餓鬼に苦しんでいるのを知り、お釈迦さまに相談したところ、「夏の修行が終わる7月15日に僧侶を招き、供物をささげて供養すると良い」と教えられ、その通りにしました。すると、その功德によって母親は苦しみから救われたということです。お盆はこの故事に由来しているとされております。

新盆^{にいぼん}について

亡くなった方が忌明け後、初めて迎えるお盆を「新盆(初盆)」といいます。新盆は故人の霊が初めて家に戻ってくる日です。



▲新盆用の白提灯(一例)

親族や知人、友人大勢そろって特に丁寧にお迎えしたいものです。また四十九日の忌明け前にお盆を迎える場合には、新盆供養は翌年に行うのが一般的です。地域によって異なりますが、提灯は絵柄のない白い提灯を用意します。これは、初めて帰ってくる故人の霊が迷わないように目印として軒先などに吊り下げるもので、新盆の時だけ用い、送り火で燃やしたり、お寺に納めたりします。

お盆の流れ

ご先祖様が帰ってくる日を迎えるために、必要なものは順序を立て、計画的に準備するのが良いでしょう。
直前になってあわてないように、流れを確認しておきましょう。

【7月盆】6月

【8月盆】7月

お盆の準備をはじめましょう。

1 寺院への依頼

・不明な点はお寺様へ尋ねておきましょう。

2 お墓、お仏壇の掃除

・帰ってこられるご先祖様の霊のために、きれいにしておきましょう。

3 自宅の準備

- ・盆棚、仏具、ローソク、線香、盆提灯の用意をしましょう。
- ・お参りしていただいた方へのお礼の品を用意しましょう。
- ・新盆^{にいぼん}の場合は、白い提灯、行灯などの盆提灯を用意しましょう。

チェックポイント!

■ お盆用品は一体どこで 購入するべき?

盆棚に飾る品など、お盆用品はスーパーでも購入することができます。ただし、地域の風習や宗派による違いなどよくわからない場合は、仏壇店で購入したほうが良いでしょう。きっと盆棚の作り方やお参りの作法など、幅広く仏事について教えてくれるはずです。
もちろん当社でもお客様の様々なご相談を承ります。お気軽にご相談ください。



【7月盆】7月

【8月盆】8月

12日までにお迎え準備…飾りつけや、お供えの準備を済ませておきましょう。

13日
迎え盆

お盆の入り

朝…準備

- ・お位牌を仏壇から盆棚に移します。
- ・仏具、御霊膳、花、ナスの牛とキュウリの馬など供えましょう。
- ・お迎え提灯、お供え物、線香、ローソクなどを準備しましょう。

午前…お墓参り

- ・家族そろってお墓参りに行きます。
迎えは早く、送りは遅くといわれます。

夕方…迎え火

- ・盆提灯に火を灯し、家の玄関先か門口で「迎え火」をたき、ご先祖様の霊をお迎えします。

チェックポイント!

■ 様々なお墓参りの慣わし

お墓で線香をつけ、その火を提灯に移して持ち帰り、盆棚の灯明に移す地域もあります。この火が精霊だとも言われております。



14日
15日

- ・お盆の間は灯明をたやさず、家族と同じ食事を朝昼晩 供えます。
- ・僧侶を迎え、読経をしていただきます。(菩提寺で合同法要を営まれる場合もあります。)
- ・親族や知人を招いて会食をすることも多いようです。

16日
送り盆

夕方…送り火

- ・家の玄関先か門口で「送り火」をたいて、ご先祖様の霊をお見送りします。

精霊棚の まつりかた

しょうりょうだな

精霊棚の まつりかた

お盆の時に特別に飾られる棚のことを
盆棚または精霊棚と呼びます。
精霊棚はご先祖様をお迎えする
聖域です。仏膳や供物をお供えし、
常にお線香と灯りをたやさず、
両脇には柄物や家紋入りの提灯を置き、
お仏壇、精霊棚を明るくします。
青竹をたて、その上部に縄を張り、
ホオズキなどを吊るすのは、
この中に精霊が来るという「結界」、
つまり、しきりをつくるためです。



- ① 青竹
- ② ホオズキ
- ③ ご先祖様の位牌
- ④ 三具足 (ローソク立て、花立、香炉)
- ⑤ ナスの牛、キュウリの馬
- ⑥ りん
- ⑦ 盆提灯
- ⑧ 真菰ゴザ
- ⑨ 十三仏

チェックポイント!

■ ナスの牛・キュウリの馬には、 どんな意味が込められているの？

ナスやキュウリに足をつけた馬や牛の姿は、
ご先祖様の乗り物になぞらえた微笑ましい慣わしです。
「キュウリの馬に乗って早く来て下さいね」
「ナスの牛に乗ってゆっくりお帰り下さいね」
という意味が込められています。



お仏壇を 用いた場合

お仏壇を用いた場合、お仏壇の膳引きを
精霊棚にしつらえるか、前に経机などを
置いて真菰のゴザを敷きます。
この場合も青竹を左右に立て、
縄を張りホオズキなどを吊るします。
真菰のゴザは霊座と呼ばれます。
その上におがらまたは、
割り箸で4本の足をつけたナスの牛や、
キュウリの馬を飾ります。
その他に霊座の上には季節の野菜や
果物、水、団子などをお供えします。

- ① ご本尊
- ② 吊灯籠
- ③ 位牌
- ④ 回出位牌
- ⑤ 茶湯器
- ⑥ 仏飯器
- ⑦ 蓮花
- ⑧ 高坏
- ⑨ 花立
- ⑩ 本尊香炉
- ⑪ 生花立
- ⑫ 線香入
- ⑬ ローソク立て
- ⑭ 香炉
- ⑮ りん
- ⑯ 精霊棚
- ⑰ 経机
- ⑱ 笹竹
- ⑲ ホオズキ
- ⑳ 盆提灯



提灯についてのQ&A

? なぜ盆提灯を飾るのですか？ また、いつ頃 購入すればいいですか？

ご先祖様は提灯の明かりを目印にお戻りになるといわれており、ご先祖様の迎え火としての意味があるからです。お買い求めはお盆前の6月から7月が中心となります。

? 提灯は一对飾るべきですか？

一对置くことが基本です。仏教は、様々な欲望に惑わされずに真直ぐに生きていくための「中道」という教えにより、寺院やお仏壇も左右対称のデザインになっています。

? 提灯はどれくらいの期間、飾るものですか？

一般的にはお盆の月に入ったら飾りつけを始めることが多いようです。遅くとも13日には飾りつけを終わらせ、片づけは送り火が終わってからにしましょう。

? 提灯はどこに飾るのが正しいですか？

盆提灯は盆棚・精霊棚の前、もしくはお仏壇の前に飾るのが基本です。迎え火、送り火としての灯火にする白提灯は玄関もしくは窓際に飾ります。

? 宗教や宗派によって提灯は違いますか？

盆提灯には宗派の違いはありませんが、浄土真宗の場合には独自の切子灯籠も用意されています。

お盆についてのQ&A

? 十三仏とはなんですか？

十三の仏様で、初七日から四十九日までの七回の法要、その後の百か日から三十三回忌の十三回の法要において、それぞれ故人の救済に当たるとされています。

? 施餓鬼とはなんですか？

文字通り「餓鬼に施しをする法要」で、餓鬼道に落ちて苦しむ諸霊に食べ物や施して供養をすることです。

? 棚経とはなんですか？ また、何処に依頼すればいいですか？

棚経とは、盆棚・精霊棚の前でお経を読んでいただくことです。菩提寺様へお願いするのが本来ですが、菩提寺様が遠方な場合、近くのお寺様へお願いすることもあります。

? お盆に来ていただいた方へのお返しは 何がいいですか？

提灯代として現金をいただいた場合には、お礼状や電話をするなど、感謝の気持ちをお伝えしたり、お菓子などをお返しします。

? なぜ真菰^{まこも}の敷物を使うのですか？

ご先祖様を清浄な場所にお迎えするためです。真菰は薬用成分を含む植物で、お釈迦様は真菰の敷物に病人を寝かせ治療をしたとも言われます。

? なぜおがらを燃やすのですか？

おがらとは、麻の皮をはいた後に残る芯の部分です。麻は古来より清浄な植物で、悪いものを寄せ付けないと考えられています。また、燃やすということも清浄な空間を作り出す行いです。

? 浄土真宗ではお盆をしないのですか？

浄土真宗では、亡くなられた後すぐに極楽浄土に往くと考えられ、餓鬼道での救いが必要ありません。そのため、お盆行事は行わないのが一般的ですが、お寺様へご確認されるのが良いでしょう。

お盆には、いわれのある習慣や出来事がたくさんありますよ！



■ お盆についてもっと知ろう！その他の豆知識をご紹介します！



■ 盆踊りの始まりは？

盆踊りは、お釈迦さまのお弟子さんである目連さんが、母親の苦しみを救ったことを大変喜び、三日間踊って喜びをあらわしたのが始まりと言われております。



■ 萩萩とは？

萩萩は、旧盆の頃に咲くので「盆花」ともいわれます。萩萩の葉を束ねたものに「あかみず」を付け、精霊棚にふりかけてお清めをするやり方もあるようです。



お盆のお迎え準備チェックリスト

お迎えに用意するものはたくさんあるので、つつい見落としがち。ひとつずつチェックしておきましょう！

✓チェック!

白提灯(白紋天) しろもんてん	新盆 にいぼん を迎える方のみです。 仏様が白提灯を目印に帰ってくるとわれています。
電池式ローソク	ローソクの代わりに使う、吊り下げ提灯用の 安全な電池式ローソクです。
盆提灯 おんどん	吊提灯や行灯型がございまして、 盆飾りに合わせてお選びください。
盆 棚	ご先祖様をお迎えする聖域です。 盆棚用のゴザや、金欄 きんらん の祭壇掛けもございまして。
心まちセット	お供えの下に敷く すだれ状のゴザと、牛と馬、 蓮の葉、おがらのセットです。
ほうろく・おがら	ほうろくは、迎え火・送り火を焚くための素焼きの お皿です。この上でおがらを焚きます。
盆 花	お浄土の花である「蓮」です。 お盆の飾りを華やかにします。
経 机	お仏壇でお迎えする場合、あると便利です。
掛軸十三仏	初七日から四十九日、三十三回忌明けまでお導きくださる 導師 ついでん を十三仏 くさう といいます。追善供養 まづ の法要時にお祀りします。
霊 供 膳	精進料理をお供えするお膳です。
仏膳用素材セット(ご先祖さま)	フリーズドライ製法の精進料理です。 仏様にお供えする精進料理が手間いらずに出来ます。
導師布団	お寺様が読経のときに使います。
祭壇掛	ご先祖様を迎えるための敷物 (金欄の織物など)

— 仏壇・仏具・神具の総合専門店チェーン —

新宿西口 都庁まえ



お仏壇のセレモア®

スマホで簡単検索

セレモア 仏壇

検索



株式会社 セレモア®